

新年度に向けて ～看護部より～



2023年7月より看護部長に就任した福田と申します。当院は2024年度より新院長の賀藤先生を迎え、新体制としてスタートいたしました。病院機能において最も重要な感染対策と医療安全の向上を柱に、院内では様々なプロジェクトを立ち上げ、より良い病院運営に邁進しております。

2025年度の看護部の目標は「地域から求められる役割を明確にし、安全で安心できる看護を提供すること」です。私たち看護部は地域社会の一員として、信頼される看護を行い、患者さんとそのご家族が安心できるよう努めています。

これまで、私は助産師としてまた看護師として様々な経験を積ませていただきました。一言に看護といってもその役割は多岐にわたります。それぞれの分野における専門知識や技術はもとより、患者さんやその家族のニーズを捉え、包括的な医療を提供するためのコミュニケーション能力も必須です。これらを実践するため看護師として日々起こる出来事や出会う患者さんに向き合ってきました。

その中で最も大きな気づきは、自身が提供できることよりも遥に多い学びや癒やしを患者さんから与えてもらっているということです。

当院の看護部は、「あたたかく 心よりそう 看護」を理念として掲げ、患者さん一人ひとりに温かい心で寄り添うことを大切にしています。これらを私たちが実践することで、看護者自身への学びや成長につながるからです。看護を通じた人と人との関わり合いのなかから、自身と異なった状況や考え方、価値観に触れることで私たちの視野は広がっていきます。

目まぐるしく変化する社会情勢に対応するためにも、様々な経験を自身の柔軟性や適応能力に変えていけるよう努力していきたいと考えております。

おめでとう! 赤ちゃん



お母さま
永野 さま

2024.11.1生まれ



お母さま
松尾 さま

2024.12.1生まれ



お母さま
平松 さま

2025.1.3生まれ



お母さま
大武 さま

2025.2.5生まれ



「おめでとう! 赤ちゃん」は対象月に当院で生まれた赤ちゃんをご了承いただいて載せています。※11月は双子の赤ちゃんとなります。

産前産後リハを始めました



理学療法士 熊谷

2025年1月より、ウイメンズヘルスリハビリテーション（産前産後リハ）を開設致しました。ウイメンズヘルスリハビリテーションと聞いてピンとこない方も多くいらっしゃると思いますが、女性は思春期よりホルモンが大きく変化し、成熟期に出産、更年期に閉経とからだの中は目まぐるしい変化を遂げます。その女性のライフステージに応じた健康問題に対して実施されるのがウイメンズヘルスリハビリテーションです。

皆さん、女性ホルモンとはよく耳にしますが、その女性ホルモンはどのくらい分泌されるのかご存じですか？実は一生の中でティースプーン1杯分なのです。そのティースプーン1杯に女性のからだやこころは様々な変化を起こします。人によってはその女性ホルモンに振り回されていると感じている方も多いのではないのでしょうか。

女性はライフステージの中で思春期での月経異常、成熟期における妊娠・出産に伴う問題、更年期～老年期におけるメタボリックシンドローム、骨粗鬆症など諸問題を抱えます。

現代では、労働力人口総数に占める女性の割合は50%近くとなりました。最近では育児に男性が加担して共同育児を担うご家庭も増えてきてはいるかと思いますが、それでも妊娠・出産を担うのは女性のからだです。大きなダメージを受けた直後から育児が始まり、自分のからだところは後回し、という状況を放置せず適切なケアを適切な時期に行うことでその後歳を重ねても健康に過ごせると考えます。

日本人女性の寿命は世界1位と言われておりますが、そこに健康寿命が追い付いていないことは日々リハビリを通じて感じていることです。産前産後にリハビリ？と思う方もいらっしゃると思いますが、適切な時期に適切な運動を、心身の回復が順調に行えているのか、など理学療法士の個々の患者さんに対応ができるという専門的な力を最大限活用し、女性の明るく元気な人生の手助けができればという思いでおります。

産科主治医までお気軽にご相談ください。



新任医師のご紹介

新たに入職した医師を紹介します。



おがわら たかし
内科 小笠原 孝先生

【専門領域】

リウマチ性疾患、膠原病、アレルギー・免疫関連疾患、感染症（結核・梅毒を含む）、線維筋痛症、漢方療法

【先生のモットー】

時間とお金と命をかけて来られる患者さんにあい対して、いつも変わらず人の3倍話を聞き（傾聴ではなく）、人の5倍説明する（患者さんが理解できない話は説明とは言いません）、誠実に対応することを続けています。

【趣味・特技】

Appleコンピュータのヘビーユーザーで歴代のMacintoshが25台越えて持っています。馬術部出身で、スキーやテニスをよくやりました。（かなりご無沙汰です）。水泳は溺れたことがあり苦手です。

【患者さんへ一言】

関節及びその付近が不調になる病気は100近くあり持続する病態ですが上手に治療を行えば大半の方は良くなります。関節リウマチ等の治療に40年越え（うち米国で3年）で携わり高額な薬剤だけでなく幅広く治療経験が有りますので要時ご相談ください。

産婦人科

ふじやま こうや

藤山 昂也先生



【専門領域】産婦人科一般

【先生のモットー】常に明るく親しみやすい産婦人科医

【趣味・特技】テニス、麻雀

【患者さんへ一言】

何でも気軽に相談してください。いつでもお待ちしております！